

# 第12課 敬語：尊敬語・謙讓語Ⅰ・謙讓語Ⅱ・丁寧語

第12課講「敬語」。敬語分四大類：抬高對方（長輩、客人）的**尊敬語**、謙稱涉及對方的自身行為的**謙讓語Ⅰ**、鄭重講自己行為的**謙讓語Ⅱ（丁重語）**，以及單純把話講得有禮貌的**丁寧語**。掌握「抬高對方／放低自己」這個大原則，再記熟常用動詞的對照，就能應付 N3 的敬語題。

## ■ 今課目標

- 分清敬語四大類：尊敬語、謙讓語Ⅰ、謙讓語Ⅱ、丁寧語，各自抬高或放低誰。
- 用尊敬語的規則（お／ご～になる、～れる／られる、お／ご～ください）和特別動詞抬高對方。
- 用謙讓語Ⅰ（お／ご～する、特別動詞）謙稱涉及對方的自身行為。
- 用謙讓語Ⅱ（参る・おる・いたす・申す 等）鄭重講自己的行為。
- 避免「二重敬語」和「對自己用尊敬語」等常見錯誤。

## 一、敬語的全體框架

### ■ 先搞清楚『抬高誰、放低誰』

敬語的核心是「相對位置」。尊敬語把對方（長輩、客人）的行為抬高；謙讓語把自己的行為放低，從而間接抬高對方。謙讓語Ⅰ用於『自己的行為直接涉及對方』（例如去拜訪老師、向老師報告）；謙讓語Ⅱ（丁重語）只是把自己的行為講得鄭重，未必涉及某個對象。丁寧語（です・ます・ございます）則與上下關係無關，只是禮貌。

### 四類敬語一覽

類別	抬高／放低	用於
尊敬語	抬高對方	長輩、客人的行為
謙讓語Ⅰ	放低自己（抬高對方）	自己的行為，且直接涉及對方
謙讓語Ⅱ（丁重語）	放低／鄭重	自己的行為，向聽者表示鄭重
丁寧語	禮貌（與上下無關）	です・ます・ございます

## 二、尊敬語：抬高對方的行為

### ■ 三條通用規則＋特別動詞

尊敬語有三條通用造法：①お＋動ます形＋になる（ご＋漢語＋になる）；②～れる／られる（與被動同形）；③請求用 お＋動ます形＋ください（ご＋漢語＋ください）。狀態用 ～ていらっしゃる、名詞・な形容詞用 でいらっしゃる。部分常用動詞有專門的特別動詞。

### ■ 形式規則

① お＋ます形＋になる（お帰りになる）／ご＋漢語＋になる（ご出席になる）。② ～れる／られる（帰られる・出席される）。③ 請求 お＋ます形＋ください（お書きください）。④ ～ている→～ていらっしゃる；だ→でいらっしゃる。

### ■ 例句

1. 先生は何時にお帰りになりますか。  
→ 老師幾點回去呢？（お＋ます＋になる）
2. 社長は明日の会議に出席されますか。  
→ 社長明天會出席會議嗎？（～される）
3. どうぞこちらにお座りください。  
→ 請坐這邊。（お＋ます＋ください）
4. 先生はお元気でいらっしゃいますか。  
→ 老師您身體好嗎？（だ→でいらっしゃる）

## 三、謙讓語Ⅰ：謙稱涉及對方的自身行為

### ■ お／ご～する＋特別動詞

謙讓語Ⅰ用於『自己的行為，而這行為直接涉及／指向對方（長輩）』。通用造法是 お＋動ます形＋する（ご＋漢語＋する）。常見特別動詞有 伺う（拜訪／請教）、申し上げる（說）、拝見する（看）、お目にかかる（見面）、いただく（領受）。

### ■ 形式規則

お＋ます形＋する（お持ちする）／ご＋漢語＋する（ご案内する）。～てもらう→～ていただく。

## ■ 例句

1. お荷物をお持ちします。  
→ 我來幫您拿行李。(お+ます+する)
2. 私が会場までご案内します。  
→ 由我帶您到會場。(ご+漢語+する)
3. 明日、先生のお宅に伺います。  
→ 明天我會去拜訪老師家。(訪ねる／聞くの謙讓)
4. 先生の絵を拝見しました。  
→ 我拜看了老師的畫。(見るの謙讓)

## 四、謙讓語II（丁重語）：鄭重講自己的行為

### ■ 不一定涉及對方，只是鄭重

謙讓語II（丁重語）是把自己的行為講得鄭重、有禮，不一定涉及某個長輩。常用特別動詞：参る（去／來）、おる（在）、いたす（做）、いただく（吃／喝）、申す（說／叫做）、存じる（知道／認為）。多用於正式自我介紹、商務場合。

### ■ 形式規則

参る（行く・来る）／おる（いる）／いたす（する）／いただく（食べる・飲む）／申す（言う）／存じる・存じております（知っている・思う）。

## ■ 例句

1. はじめまして、田中と申します。  
→ 初次見面，我叫田中。(言う的丁重語)
2. 明日3時に参ります。  
→ 我明天三點會過去。(行く・来る的丁重語)
3. ただ今、資料を確認いたします。  
→ 我現在馬上確認資料。(するの丁重語)
4. その件は存じております。  
→ 那件事我知道。(知っている的丁重語)

## 五、丁寧語：です・ます・ございます

### ■ 與上下關係無關的禮貌

丁寧語只是把句子講得有禮貌，與抬高或放低誰無關。です・ます 大家已經熟悉；更鄭重的場合（例如店鋪、廣播）會用 ございます（だ→でございます、ある→ございます）。

### ■ 例句

1. こちらは新製品でございます。

→ 這是新產品。（だ→でございます）

2. お手洗いは2階にございます。

→ 洗手間在二樓。（ある→ございます）

## 六、常用動詞敬語對照表

普通形 → 尊敬語 → 謙讓語

普通形	尊敬語（抬高對方）	謙讓語（放低自己）
いる	いらっしゃる／おいでになる	おる
行く	いらっしゃる／おいでになる	伺う（うかがう）／参る（まいる）
来る	いらっしゃる／お見えになる	参る（まいる）
する	なさる	いたす
言う	おっしゃる	申す（もうす）／申し上げる
見る	ご覧（らん）になる	拝見する（はいけん）
食べる・飲む	召し上がる（めしあがる）	いただく
会う	お会いになる	お目にかかる
知っている	ご存じだ（ぞんじ）	存じている／存じ上げる
もらう	—	いただく
あげる	—	差し上げる（さしあげる）
くれる	くださる	—

## 七、常見錯誤與總整理

### ■ 常見錯誤

- **×** 先生がご覧になりました。  
○ **先生がご覧になりました。**  
「ご覧になる」已是尊敬語，再加られる變成『二重敬語』，多餘。
- **×** (自己) 私が申し上げになります。  
○ **私が申し上げます。**  
對自己的行為要用謙讓語，不能用尊敬語的造法（お／ご～になる）。
- **×** 先生はもう昼ご飯をいただきましたか。  
○ **先生はもう昼ご飯を召し上がりましたか。**  
「いただく」是謙讓語（放低自己）；講對方（老師）吃飯要用尊敬語 召し上がる。
- **×** 部長は今、会社におりますか。  
○ **部長は今、会社にいらっしゃいますか。**  
「おる」是謙讓語；問對方（部長）在不在，要用尊敬語 いらっしゃる。
- **×** お客様、あちらでお召し上がりになられてください。  
○ **お客様、あちらで召し上がってください。**  
召し上がる 已是尊敬語，疊加 お～になる+られる 是過度敬語。

自己輸出：想像你在公司接待一位客人。用敬語寫三句：一句抬高客人的行為（尊敬語），一句謙稱自己要做的事（謙讓語 I），一句鄭重的自我介紹（謙讓語 II）。

---

---

---

---

---